

大阪回生リハビリテーション研究会 第3回 特別講習会風景

大阪回生リハビリテーション研究会 第3回 特別講習会

「運動刺激による筋の可塑性」③

—筋肥大や萎縮抑制のメカニズム—

講 師:河上 敬介 先生(名古屋大学 医学部保健学科理学療法学専攻 准教授)

笹井 宜昌 先生(姫路獨協大学 医療保健学部 理学療法士学科 講師)

日 時 : 2008年10月4日(土)

会 場 : 大阪回生病院リハビリテーションセンター

大阪回生リハビリテーション研究会 Osaka Kaisei Rehabilitation Society

今回は河上敬介先生、笹井宜昌先生を講師にお迎えし、ご講義いただきました。運動による筋肥大や萎縮抑制のメカニズムについて、神経系・筋線維組成・筋線維の走行など、様々な視点からの知見をご教授いただきました。また、筋の太さに影響を及ぼす情報伝達についてのご講義では、多くの研究に裏づけされた考察をうかがうことができました。ご講義の他、受講生の皆様からも日々の臨床でのご質問が多くあり、筋の生理学と日々の臨床との結び付きをより深めることができる良い機会となりました。

河上敬介先生、笹井宜昌先生、ならびに受講生の皆様、本当にありがとうございました。

<講義風景>





<アンケート集計>

① 一番興味をもてたこと

- ・伸張刺激による蛋白質合成
- ・筋線維タイプの変化
- ・実際の臨床での運動刺激の負荷
- ・筋線維組成の変化
- ・筋細胞における機械刺激応答

② 疑問に思ったこと

- ・どういった刺激が最も合成を促進させることができるのか
- ・タンパク合成や分解に対してセラピストが行えること

③ 難しく感じたところ

- ・ユビキチン-プロテオソーム系やたんぱく量関連シグナル
- ・筋線維タイプ別の運動療法

④ 感想

- ・ 普段ここまで深く考えることが出来なかったので、難しく感じましたが非常に重要に感じました。
- ・ ミクロの世界での筋細胞の変化のメカニズムを知ることが出来、興味深かった。
- ・ 筋肥大・筋萎縮の最近の知見を知れて、勉強になりました
- ・ 学生時代の復習、新しい知見は大変参考になりました。
- ・ 筋を深く知るには奥が深い。